

応募要項

賞	大賞 賞状及び50万円 優秀賞 賞状及び10万円 佳作(数点) 賞状及び5万円
応募資格	応募時点で 17～25 歳の方
字数	3,000～8,000字程度の論文
応募期間	2020年8月1日～9月30日 (必着)
応募方法	QRコードよりウェブサイトへアクセスし、応募フォームに必要事項を記載の上、ご応募ください。(郵送にて応募する場合は、ウェブサイト掲載の個人情報の提供および利用に関する同意書をダウンロードし、必要事項を記載の上、論文とともに送ってください。)
入賞者発表	2020年11 月下旬

過去の受賞者の
論文執筆期間は、平均**2～3週間**。
最短で**3日**という方も!

**全国からのご応募
お待ちしております!**



審査員

日本経済新聞社 編集委員	竹田 忍 氏
株式会社メディヴァ 代表取締役	大石 佳能子 氏
京都大学大学院 医学研究科 医科学専攻	秤谷 隼世 氏
KPMG ジャパン CEO	高波 博之 他

関西から世界へ。
あなたのアイデアをお待ちしています!

過去の大賞受賞論文・FAQなどの参考になる
コンテンツをチェック!



home.kpmg/jp/kansai

後援:大阪府 関西広域連合 日本国際連合協会関西本部
協力:HELLO, VISITS

提出先・お問合せ先

有限責任 あずさ監査法人 大阪事務所
KPMG次世代論文コンテスト事務局宛(担当:奥・上田)

〒541-0048 大阪市中央区瓦町3丁目6番5号 銀泉備後町ビル
TEL:06-7731-1005 FAX:06-7731-1011
e-Mail: AZSA-ROBUN@jp.kpmg.com

ご提供いただく個人情報は、当法人のHPに掲載している個人情報保護方針(https://home.kpmg/jp/privacy)に基づいて取り扱います。

KPMG ジャパンは、KPMG インターナショナルの日本におけるメンバーファームの総称であり、監査、税務、アドバイザーの3つの分野にわたる8つのプロフェッショナルファームによって構成されています。クライアントが抱える経営課題に対して、各分野のプロフェッショナルが専門的知識やスキルを生かして連携し、またKPMGのグローバルネットワークも活用しながら、価値あるサービスを提供しています。

© 2020 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. Printed in Japan. Osaka.

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.

KPMG

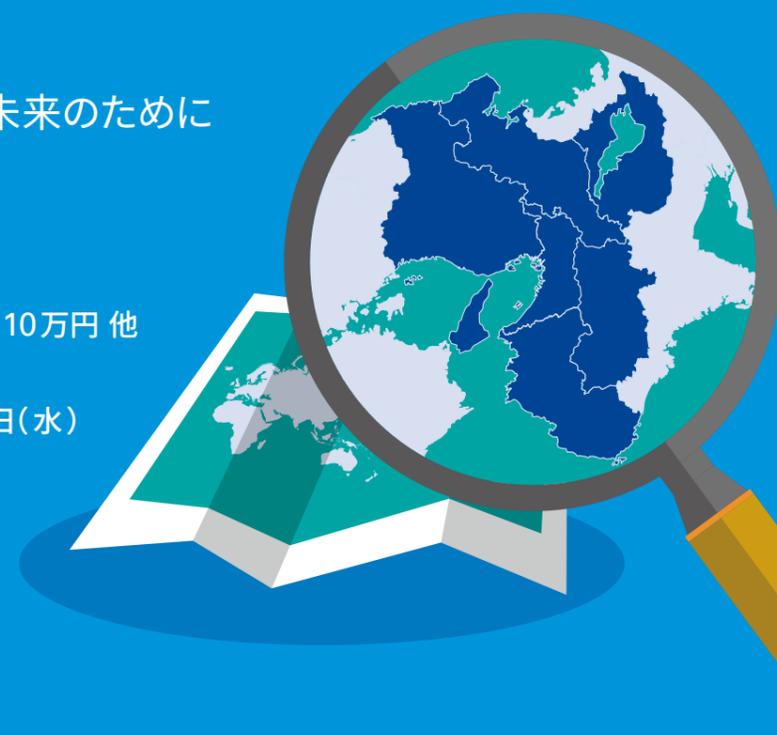
第4回 KPMG 次世代論文 コンテスト —関西の未来

募集テーマ:
世界に選ばれる関西の未来のために

大賞 **50**万円 優秀賞10万円 他

応募締切 **2020年9月30日**(水)

応募資格 **17～25**歳の方



あずさ監査法人

KPMG次世代論文コンテスト

— 関西の未来とは？

「関西の未来」をテーマに、次世代を担う皆さんのさまざまなアイデアを論文形式で発表する場です。第4回目となる2020年のテーマは、「世界に選ばれる関西の未来のために」。若者らしい自由な視点で、これからの関西の未来像を描いてください！

関西への思いを
発信しよう



大賞受賞論文はあずさ監査法人の
ウェブサイトに掲載されます。

フィードバックを
もらおう



複数の審査員が
プロフェッショナルとしての立場で
講評を提供します。

関西の未来について
対話しよう



同じ思いの方や
プロフェッショナルと、関西の未来
について語り合しましょう。

第4回 募集テーマ

「世界に選ばれる関西の未来のために」

皆さんの目に、関西の未来はどのように映っているでしょうか？ 東京への一極集中により過疎化、少子高齢化が進行する一方、関西の持つ独自性や多様性には世界に通用するポテンシャルがあります。KPMG /あずさ監査法人のVisionは、会計・監査を通じて“社会から常に選ばれる存在 (The Clear Choice)” となること。関西がともに“世界から選ばれる存在”となるよう、あずさ監査法人も貢献していきたいと考えています。「ローカルからグローバルへ」がキーワードです。関西にゆかりのある方も、関西の未来に関心のある方も、この機会に是非自由な発想で、アイデアやプランをお寄せください。

第4回審査員

2020年度「第4回 KPMG 次世代論文コンテスト」の審査員は、次の方々です。



日本経済新聞社
編集委員
竹田 忍 氏



株式会社メディヴァ
代表取締役
大石 佳能子 氏



第2回コンテスト 大賞受賞者
京都大学大学院 医学研究科
医科学専攻 博士後期課程
秤谷 隼世 氏



KPMGジャパンCEO /
あずさ監査法人 理事長
高波 博之

歴代の大賞受賞者



第1回 北村 鴻典 氏
大阪大学 経済学部経済・経営学科 4年生

論文テーマ

「待機児童解消が導く関西の未来」

論文概要

待機児童の解消という課題において、不足している保育士の増員にシニア世代を活用し、シニア世代を現場で支援する仕組みづくりに関西地域の中小企業の技術を結集し、IoTを導入することで、子どもを育てやすい環境を構築し、少子化の解消、ひいては関西全体の活性化を図る。



第2回 秤谷 隼世 氏
京都大学大学院 医学研究科 医科学専攻

論文テーマ

「関西のヘルスケアから始まる、新たな課題解決の躍動」

論文概要

関西にはIPS細胞の臨床研究など、世界でも最先端の研究を行う企業が多くあるが、住人の健康寿命は国内の中でも低く医療・介護費用は増加している。ITなどの成長産業が関西は少なく、ヘルスケア領域が関西の次の成長のカギになる。



第3回 SEO HYEMIN (ソ・ヘミン) 氏
大阪大学 法学部法学科 3年生

論文テーマ

自然災害対策の統合で構築する「安心できる関西」
— IKES (アイクス: Inter-Kansai Evacuation System) の事業計画 —

論文概要

防災や災害発生の情報提供は未だ訪日外国人には不十分であり、緊急時の行政が提供する情報や、個人のSNSなど、訪日外国人に対する情報発信は、一つのプラットフォームに集約されていない。自身も留学生であるという視点から、正確で信頼性ある、プラットフォーム(Inter-Kansai Evacuation System、略称アイクス)が必要であると考えます。

過去の論文で
使用された
キーワード

SDGs サービス 農業 インバウンド 環境問題
サイエンス ライフスタイル テクノロジー モノ作り
東京との違い 関西地域活性化 金融 etc…
このような視点から、テーマへ切り込んだ例が多く見られます。

歴代の
大賞受賞者の
論文を公開中

